

秋田北鷹高等学校	募集 定員	普通科（１２０名）								
求 め る 生 徒 像										
本校は、校訓「自律 創造 共生」の下、県北地区の核として、２１世紀の県北に活力を与える学校を目指している。 普通科では、１年次から、国公立大学、看護医療系学校等への進学、および高い学力が必要とされる進路実現を目指す特別進学コースを設定している。特別進学コース以外は、２年次から総合進学・公務員・キャリア・スポーツの各コースに分かれ、目標に合った資質・能力を育成する。 以上のことから、次の１～６に当てはまる生徒を求める。 - 高い理想を掲げ、自ら学ぶ意欲に溢れる生徒。 - 逞しい精神力と体力を培い、未来を切り開く生徒。 - 品位に富み、規律正しく主体的に行動する生徒。 - 広い視野と高い表現力をもち、国際社会で活躍できる生徒。 - 郷土の歴史や文化を理解し、活力ある地域づくりに参画する生徒。 - 豊かな感性をもち、科学的・論理的に思考できる生徒。										
募集人員・出願の条件・配点・面接の形態等・選抜方法・その他										
特色選抜	募集人員 ２４名									
出願の条件 基礎学力が身に付いており、部活動等において顕著な活動をし、入学後も本校で当該活動を継続する強い意志がある生徒。ここでいう「顕著な活動」とは、次のいずれかの条件を目安とする。 - 体育的活動の分野で主力として活躍し、全県大会出場の実績又は同等の優れた実力を有していること。 - 文化的活動の分野で全県大会以上の発表会、コンクール等に出場した実績又は同等の優れた実力を有していること。 配点（合計 ７００点） <table> <tr> <td>１ 学力検査</td> <td>２７５点（５教科の検査得点の合計５００点満点を２７５点満点に換算）</td> </tr> <tr> <td>２ 調査書</td> <td>１９５点</td> </tr> <tr> <td>３ 面接</td> <td>１５０点</td> </tr> <tr> <td>４ 活動報告書</td> <td>８０点</td> </tr> </table> 面接の形態等 集団面接を実施する。 選抜方法 高等学校長が、学力検査の検査得点、調査書、志願理由書、活動報告書、面接等の評価に基づき、総合的に判断して選抜する。 その他（活動報告書に対する指示等） 活動報告書「２ 特色選抜の出願の条件に係る主な活動歴」には、最も顕著な活動実績（最も上位の大会実績）を１件のみ記入すること。なお、「その他」の欄には何も記入しないこと。			１ 学力検査	２７５点（５教科の検査得点の合計５００点満点を２７５点満点に換算）	２ 調査書	１９５点	３ 面接	１５０点	４ 活動報告書	８０点
１ 学力検査	２７５点（５教科の検査得点の合計５００点満点を２７５点満点に換算）									
２ 調査書	１９５点									
３ 面接	１５０点									
４ 活動報告書	８０点									
一般選抜	募集人員 ９６名									
配点 <table> <tr> <td>１ 学力検査</td> <td>５００点（国語、数学、英語、理科、社会 各１００点）</td> </tr> <tr> <td>２ 調査書</td> <td>１９５点</td> </tr> <tr> <td>３ 面接</td> <td>A～Cの段階別評価とする。</td> </tr> </table> 面接の形態等 集団面接を実施する。特色選抜を併願している場合は、特色選抜の面接をもって一般選抜の面接に代える。 選抜方法 高等学校長が、次の１と２に基づき、総合的に判断して選抜する。 - 学力検査の検査得点の合計と調査書点を基に作成した相関表。 - 調査書の記載内容及び面接の評価に関する資料。			１ 学力検査	５００点（国語、数学、英語、理科、社会 各１００点）	２ 調査書	１９５点	３ 面接	A～Cの段階別評価とする。		
１ 学力検査	５００点（国語、数学、英語、理科、社会 各１００点）									
２ 調査書	１９５点									
３ 面接	A～Cの段階別評価とする。									

秋田北鷹高等学校	募集 定員	生物資源科 (35名)、 緑地環境科 (35名)												
求 め る 生 徒 像														
本校は、校訓「自律 創造 共生」の下、県北地区の核として、21世紀の県北に活力を与える学校を目指している。生物資源科では、作物の栽培や家畜の飼育等を通して、自然との関わりを学ぶとともに、経営・流通に関する基礎知識と技術を幅広く習得させ、地域社会の発展と新時代に対応できる職業人としての能力と実践的な態度を育成する。緑地環境科では、1年次から希望により、森林環境コースと環境土木コースに分かれて学習する。森林環境コースでは、森林生態系を重視した環境保全と森林育成・利用ができる知識と技術の習得、環境土木コースでは、土木事業や国土保全に関する知識と技術を習得する。以上のことから、次の1～6に当てはまる生徒を求める。 1 高い理想を掲げ、自ら学ぶ意欲に溢れる生徒。 2 逞しい精神力と体力を培い、未来を切り開く生徒。 3 品位に富み、規律正しく主体的に行動する生徒。 4 広い視野と高い表現力を持ち、国際社会で活躍できる生徒。 5 郷土の歴史や文化を理解し、活力ある地域づくりに参画する生徒。 6 豊かな感性を持ち、科学的・論理的に思考できる生徒。														
募集人員・出願の条件・配点・面接の形態等・選抜方法・その他														
特色選抜	募集人員各7名													
出願の条件 当該学科の学習内容に興味をもっており、次の条件1又は2、3のいずれかに該当する者。 なお、出願の際、志願理由書の1行目にいずれの条件で出願するかを明記すること。 1 農業関係の分野（農業・林業／土木）に対する関心が高く、専門分野への大学進学、又は専門分野への就職を目指すなど進路目標が明確であること。 2 体育的活動の分野で主力として活躍し、全県大会出場の実績又は同等の優れた実力を有していること。 3 文化的活動の分野で全県大会以上の発表会、コンクール等に出場した実績又は同等の優れた実力を有していること。 配点（合計 700点） <table border="0"> <tr> <td>1 学力検査</td> <td>275点</td> <td>（5教科の検査得点の合計500点満点を275点満点に換算）</td> </tr> <tr> <td>2 調査書</td> <td>195点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 面接</td> <td>150点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 活動報告書</td> <td>80点</td> <td></td> </tr> </table> 面接の形態等 集団面接を実施する。 選抜方法 高等学校長が、学力検査の検査得点、調査書、志願理由書、活動報告書、面接等の評価に基づき、総合的に判断して選抜する。 その他（活動報告書に対する指示等） 条件1では、活動報告書「1 高校入学後に取り組みたい部活動、生徒会活動等」には、本校等の農業体験活動、農業(理科)研究発表、農業ボランティア、家業従事等のテーマ（趣旨）を記入すること。1 2 特色選抜の出願の条件に係る主な活動歴」の「その他」の欄には、1の具体的な活動の内容と感想を200文字程度で記入すること。条件2、3では活動報告書「2 特色選抜の出願の条件に係る主な活動歴」には、最も顕著な活動実績（最も上位の大会実績）を1件のみ記入すること。なお、「その他」の欄には何も記入しないこと。			1 学力検査	275点	（5教科の検査得点の合計500点満点を275点満点に換算）	2 調査書	195点		3 面接	150点		4 活動報告書	80点	
1 学力検査	275点	（5教科の検査得点の合計500点満点を275点満点に換算）												
2 調査書	195点													
3 面接	150点													
4 活動報告書	80点													
一般選抜	募集人員28名													
配点 <table border="0"> <tr> <td>1 学力検査</td> <td>500点</td> <td>（国語、数学、英語、理科、社会 各100点）</td> </tr> <tr> <td>2 調査書</td> <td>195点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 面接</td> <td colspan="2">A～Cの段階別評価とする。</td> </tr> </table> 面接の形態等 集団面接を実施する。特色面接を併願している場合は、特色選抜の面接をもって一般選抜の面接に代える。 選抜方法 高等学校長が、次の1と2に基づき、総合的に判断して選抜する。 1 学力検査の検査得点の合計と調査書点を基に作成した相関表。 2 調査書の記載内容及び面接の評価に関する資料。			1 学力検査	500点	（国語、数学、英語、理科、社会 各100点）	2 調査書	195点		3 面接	A～Cの段階別評価とする。				
1 学力検査	500点	（国語、数学、英語、理科、社会 各100点）												
2 調査書	195点													
3 面接	A～Cの段階別評価とする。													